

水土里ネットだより

letter from akita



秋田県水土里ネット広報活動情報誌

ベストあきた賞



日本NN賞



秋田県農林水産部長賞



表紙を飾る写真は、水土里ネット秋田主催「第19回美しく豊かな農村づくり写真コンクール」にて、入賞した作品です。今年も24点の作品が入賞しており、他の作品も本誌にて紹介しております。是非じっくりご覧になってくださいね♪

目次

- 特集① 水土里キッズのわくわく探訪inみたね 2
- 特集② 第141回秋田県種苗交換会協賛事業 NNフェア開催 6
- 特集③ 2018水土里の語り部交流会inやまもと 8
- 特集④ 水土里の広報委員会 9
- 特集⑤ 支部だよりの紹介 11
- 平成30年度21世紀土地改良区創造運動活動報告集 12
- 第19回美しく豊かな農村づくり写真コンクール入賞作品紹介 24

水土里の広報委員会

水土里キッズのわく

平成30年7月14日(土)三種町にて「水土里キッズのわくわく探訪」60名が参加した。今年で22回目を迎える本イベントは、小学校高秋田県の農業・農村の魅力伝え、「農」への理解を深めてもらう目



探

訪

マ

- 国道
- 秋田自動車道
- - - 奥羽本線

5 メロン収穫体験
三種町浜口土地改良区



6 八竜風力発電所見学

1 三種町琴丘支所
開講式



わくわく探訪 in みたね

訪inみたね」を開催。当日は、児童・保護者・スタッフ合わせて約学年を対象に様々な見学や体験を通して土地改良区の役割や、的で行っている。



ツ

プ

スケジュール



② 調整水圧水槽見学
秋田県能代地区
土地改良区

三種町



秋田県



③ 惣三郎沼見学
秋田県山本地域振興局

④ ゆうばる
昼食・ゲーム大会



秋田の食と農を学ぶグリーンツーリズム企画
**水土里キッズの
わくわく探訪 in みたね**
開催日：2018年7月14日(土)
開催場所：三種町

- 8:00 水土里ネット秋田 出発
- 9:10 ①三種町琴丘支所 開講式
- 10:00 ②調整水圧水槽 見学
- 10:45 ③惣三郎沼 見学
- 11:30 ④ゆうばる 昼食・ゲーム大会
- 13:30 ⑤メロン収穫体験
- 14:30 ⑥八竜風力発電所 見学
- 15:20 三種町琴丘支所 閉講式
- 16:30 水土里ネット秋田 到着



水土里キッズ

「水土里ネットの人達の役割」

秋田大学附属小学校 5年 くどう かなん 工藤 花楠

私が、この見学会で深く印象に残った事は、私達の所に食料が届くまでに、たくさんの人達が関わっていると言う事です。特に農家の人達が野菜やお米を育てるために、必要なもの「水」を大切に管理する水土里ネットの人達の事を知りました。

水土里ネットの人達は、農家の人や私達が安心してご飯を食べるために、水を管理している事にとっても驚きました。私は、今まで水はじょう水揚などでキレイにして、みんなにとどけられると思っていました。ですが、農業に大切な水は水土里ネットの人達が安全を考えて水を届けていました。また、ため池なども、いざとなったら使え、大雨の時でも堤防がこわれないように洪水吐で水を流す工夫がされていました。他にも、調整水圧水そうは水土里ネットの人達が、24時間交代で水を管理していて、メロン畑ではその作物にあわせた水のかけかたをしていました。私は水土里ネットの人達のおかげでご飯を食べれる事をとてもありがたいなと思いました。私も水土里ネットの人達のように、みんなが知らない所でもコツコツがんばり、人のためになりたいです。



「わくわく探訪」

秋田市立寺内小学校 6年 しばやま ひかる 柴山 光瑠

ぼくは、土地改良という言葉を知りませんでした。だから、初めて聞いた時は何だろう？字を見ても全然イメージができなくて今回、参加することを悩んでいました。

ですが、土地を改良するってどんなことをするのか不思議から興味に変わり、「おもしろそうだな」「楽しそうだな」と思い参加することに決めました。最初の見学場所は調整水圧水槽で田んぼの中にひときわ目立つ塔が印象的でした。白神山地から水をダムに貯め、長いパイプで調整水圧水槽に送り貯め、沢山の田んぼに水が流れるようにしていると聞き、おどろきました。田んぼに水が必要だということは知っていますが、どこからどうやって来るのかは考えていなかったで知れてよかったです。もっとおどろいたのは、ダムにいた魚も一緒に流れてくる事でした。

実際に27メートルの調整水圧水槽の頂上に登った時はこわくて少しふるえました。緑色の水の中の魚達は平気なのか気になりました。そしてタマゴを産んで魚が増えて水質がわるくなったらどうするんだろうと気になる事が増えてしまいました。けど、空をみたらドローンが現れて、とてもうれしくて見ていたら質問事がすっかり頭から抜けてしまいました。

次に農家さん達だけが出来る田んぼに水を入れるじゃ口の開閉をさせてもらったので、うれしかったです。

お昼は違う学校の子達と一緒に、笑いながら楽しく食べられたし、ゲームがおもしろく時間があっという間に過ぎてしまうくらい楽しかったです。

メロン収穫は砂地で歩きづかったのですが理事長さんに許可をもらって美味しいメロンをゲットすることができました。本当に甘くておいしかったです。

食べ頃のメロンの見分け方を教えてもらったので、メロンがりがあったらまた実践したいです。

風力発電は親せきのおじさんが風車を立てる仕事をしていたので話を少し聞いていましたが、今回わくわく聞いて良かったです。

この参加で農家さんだけでなく、住んでいる地域の人達全員の生活にかかせない仕事、やさしい取組をしていることが分かりました。ありがとうございました。

からの感想紹介



「いっぱい学んだわくわく探訪」

秋田市立川尻小学校 4年 今野 千礼

ぼくは、初めて、ため池や調整水圧水槽という言葉聞いた時「どんな物なんだろう」と思いました。

実さいに見た時は調整水圧水槽は28メートルもあってこんなに高いのかとおどろきました。さらにその水槽の中には、遠くの白山地のダムから地面に埋まっているパイプラインを通して水と一緒に魚も流れてくる事が分かりました。

ぼくはただ水槽に水を送るのだと思ったけど、水を送りすぎても「管」に空気が入ってばく発してしまうので、注意しながら水を送っていることが分かって、大変なんだなあと思いました。

風力発電は、いつも回っていると思っていただけ、風速が速い時や、台風の際はこわれてしまう時があっけんだという事が分かりました。

いつも遠くから見ていて、回るスピードはおそいのかと思っていたけれど、近くで見たらとても速くて、風速毎秒6メートルの時は4秒で1周するくらい速いと聞いて、いつも回っている時はすごく速いスピードで回っていることを知っておどろきました。

メロン畑では、昔はメロンをいっぱい作っていたけれど、高齢化で作る人が少なくなって、メロン作りはへって逆に長ネギやアスパラを作っている畑もあるそうです。メロンは苗を植えて花が咲くまで40日から50日、収穫できるまで更に40日から50日かかるので合計100日前後で、その間に農家さんが水を上げたり、肥料をあげたりして、大切に育てているから甘くて美味しいメロンになるんだなと思いました。

ぼくは今回の体験でぼくたちがメロンやお米を食べるまでに、ぼくの知らない所でいろんな人がたくさんがんばっている事が分かりました。



「たくさん発見!みたねに行って楽しかったこと」

秋田市立大住小学校 5年 柏谷 里帆

私は、友達といっしょに、「水士里キッズのわくわく探訪inみたね」に参加しました。今回は、調整水圧水そう、惚三郎沼、メロン狩り、八竜風力発電所の四つを体験しました。

調整水圧水そうでは、高さが20メートルから30メートルある水そうでパイプラインにかかる異常な水の圧力を調整する働きをしている事が分かりました。そして高く長い階段をのぼりました。真下から見ていても、そんなにこわさは感じないけど、登ってみると「まだあるの?」と声を上げてしまうほどこわかったです。

惚三郎沼の堤体は、土でできた堤防で、高さ5.6メートル、長さは、463メートルあり、水は10万立方メートル(学校のプール360杯分)をためる事ができることを知りました。洪水吐では、大雨の時、水が堤防を越えないように流す施設で、12秒でプルー一杯分の水を流すことも知りました。とっても大きな沼でおどろきました。見学した時も何人か見えましたが、ここでは、魚釣りが出来る事も知りました。

メロン狩りでは、昭和40年代から本格的な作付けを開始して、今では、全国屈指のメロン産地に成長しました。そしてメロンは、五種類もあり、どのメロンも美味しそうで、はやく食べたい気持ちになりました。帰ってからメロンを食べたらとてもおいしかったです。

最後の八竜風力発電所では、風車はドイツからゆそうされてきて、全部で17基の風車がある事が分かりました。この体験をとおして私が思った事は、何気なく使っている「水」は、本当に大切だということを改めて実感したことです。水士里ネット秋田のみなさん楽しい体験をありがとうございました。また友達といっしょに参加したいです。

第141回秋田県種苗交換会



フェアの目的は？

普段農業に関わる機会の少ない一般の方々へ向けて秋田の農業・農村の魅力や大切さを知ってもらい、農業農村整備事業の果たす役割について理解を深めてもらうために開催している。

NNフェアとは？

「農業農村整備フェア」の通称。このフェアは、本県で毎年開催される「秋田県種苗交換会」の協賛事業として参考展示を行うものである。

フェアへの出展団体は？

1. 水土里ネット秋田
2. 秋田県
3. 東北農政局(西奥羽土地改良調査管理事務所、平鹿平野農業水利事業所、旭川農業水利事業所、田沢二期農業水利事業所)
4. NPO法人秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会

■今年度は過去最多約3,700名来場!

今年度は会期中の10月30日(火)～11月5日(月)通算で約3,700名が来場した。今回は秋田駅前への出展となり、アクセスの良さ、屋外での出展ということもあり、過去最多の来場者数を記録した。来場者は大人から子どもまで、展示パネルや各種模型へ興味を寄せており、スタッフの説明に熱心に聞き入っていた。本フェアに関するアンケートへは「秋田県農業発展のため、土地改良事業、整備は重要である」、「農村には基盤が大事。土地改良の皆さんがんばってください」といったエールの言葉が目立った。

協賛事業 NNフェア開催

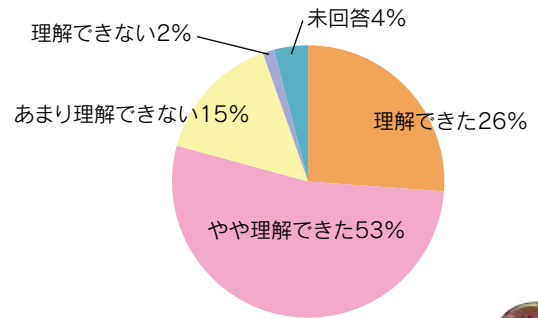
ここが
見所!

NNフェアチェックポイント

ドローン空撮映像の上映



農業農村整備事業への理解度のアンケート結果



■来場者へのアンケート結果について
アンケートの結果では約80%の来場者の方に農業農村整備事業についての理解を得ることが出来た。今後もわかりやすい展示内容を心がけ、広報イベントとしてフェアを盛り上げていきたい。



小水力発電模型実証展示



自転車発電体験コーナー



来場者の様子



2018水土里の語り部交流会inやまもと



平成 31年 1月 23日(水) 三種町琴丘総合体育館にて「2018 水土里の語り部交流会 in やまもと」が開催された。この交流会は水土里の歴史、文化、そして今日まで受け継がれてきた先人達の思いを次世代へ語り継いでいくことを目的として平成 23 年に美郷町を皮切りに全県各地で開催され、今年度で 8 回目を迎える。初の開催地となる三種町においては、能代山本地域の世界遺産「白神山地」に代表される豊かな自然・水、そして江戸時代より行われた疏水事業によって開削された農業用水の隧道など地域共有の財産が多く存在している。このような地域資源の歴史について語り合い、地域活動報告を聴くことで先人達の農業や水に対する思いを学ぶ会とすることが出来た。当日は 300 名を超える参加者が集い、地元の琴丘小学校の児童たちも学習に訪れ、大変意義深い交流会となった。

プログラム

開会あいさつ

主催者代表 秋田県土地改良事業団体連合会山本支部長 小川 善信

基調講演「桃源郷のふるさと」

ふるさと水と土指導員/あきた森づくり活動サポートセンター総括所長
菅原 徳蔵氏

地域活動報告「学校は地域の宝、地域は学校の宝」

特定非営利活動法人 常盤ときめき隊 理事長 小林 甚一氏

地域活動報告「農業用施設の維持管理と地域との交流」

水土里ネット能代地区 事業課 事業係主事 菅原 理央氏

地域活動報告「真瀬渓谷山腹水路の保全と中山間地域（八森）の農業」

(株)真瀬ファーム 総務部長 山本 優人氏

地域土地改良ヒストリー「砂丘地でのメロン栽培・複合経営への歩み」

水土里ネット浜口 前理事長 三浦 政夫氏

語りフォーラム「能代・山本の水物語を次世代に継げる」

コーディネーター：奥 ちひろ氏
(特定非営利活動法人 秋田県南 NPO センター)

パネラー：小林 甚一氏/菅原 理央氏/山本 優人氏/三浦 政夫氏

オブザーバー：秋田県農林水産部農山村振興課 政策監 石川 厚氏

閉会あいさつ

秋田県山本地域振興局農林部 次長 宮野 順一



「2018 年水土里の語り部交流会 in やまもと」の当日の様子は、本会ホームページのブログにて公開中です！是非アクセスしてみてくださいね♪

水土里の広報委員会



活動

「農地と水路を未来へつなげる水土里ネット」の標語のもと、土地改良区・土地連共通の広報活動を展開するための検討、提案を行う。

目的

農業農村整備事業に対する秋田県民の理解を得る

委員

水土里ネット秋田各支部に所属する土地改良区職員、水土里ネット秋田職員、オブザーバーとして秋田県農林水産部の職員2名



～水土里の広報委員会これまでの活動～

平成29年5月26日

平成29年度第1回水土里の広報委員会

- 広報委員会スタート
- 委員同士の交流
- 支部だよりの運営について

平成29年6月～

本会ホームページにて「支部だよりに」更新スタート

平成29年9月16日

- 水土里キッズのわくわく探訪inよこて 広報委員スタッフ参加

平成30年3月9日

平成29年度第2回水土里の広報委員会

- 支部だよりについて
- わくわく探訪についての企画提案、検討

平成30年6月8日

平成30年第1回水土里の広報委員会

- NNフェアについての企画提案、検討
- 水土里ネットだよりについて意見交換

- 21世紀土地改良区創造運動について意見交換

平成30年7月14日

- 水土里キッズのわくわく探訪inみたね 広報委員スタッフ参加

平成30年10月10日

平成30年度第2回水土里の広報委員会

- 「水土里ネットだよりに」Vol.3」編集会議
- 支部だよりの運営、編集方法について

平成30年10月30日～11月5日

第141回秋田県種苗交換会協賛行事NNフェア

- 広報委員スタッフ参加

平成31年3月5日

平成30年度第3回水土里の広報委員会

- 「水土里ネットだよりに」vol.3」編集会議

支部だよりの紹介



支部だよりとは…？

水土里の広報委員が各支部の行事や業務内容、季節の風景などを本会ホームページ内のブログから発信していく活動です。これまで、県内各支部の改良区の行事、施設紹介、農作業風景などを更新しており、災害時には写真を掲載し、会員から一般の方まで幅広い層へ向けて様々な情報発信としての役割を担っております。

アクセス方法

本会ホームページのトップページよりアクセス可能です。



ピックアップ支部だより

研修・行事

【鹿角・大館・北秋田支部】

舞台アグリノベーション(株)を訪問してきました。
2017年7月11日



【秋田支部】

平成30年度職員会秋田支部
現地視察研修会が開催されました
2018年7月20日



地域との交流

【平鹿支部】

田ノ植地区ほ場整備出前講座(秋田県雄物川筋土地改良区)
2017年7月10日



事業について

【雄勝支部】

園芸作物産地形成事業(湯沢・稲川・秋ノ宮地区)
2017年10月31日



【仙北支部】

畑屋中央地区 起工式・安全祈願祭
2018年6月27日



【山本支部】

ほ場整備推進協議会(能代市河戸川・浅内地区)
2017年6月29日



下のQRコードを
読み取ると、「支部
だより」へアクセ
スできます!



平成30年度21世紀土地改良区創造運動



21世紀創造運動とは？

水土里ネットの役割や農業農村の多面的な機能を全国へ発信するために水土里ネットが地域の人たちと協力し、取り組む運動です。平成13年度から始まり、全国各地で多様な取り組みが展開されており、「水土里ネット」の呼称の普及にも貢献しています。活動の継続により、地域社会との絆が深まり、水土里ネット関係者の意欲と意識改革もつながり、本県においても県民へ水土里ネットの活動をPRする広報活動となっております。

平成30年度 21創造運動県知事賞 秋田県仙北平野土地改良区

例年多彩な活動を行っている水土里ネット仙北平野が「平成30年度21世紀土地改良区創造運動秋田県知事賞」を受賞した。同水土里ネットは、平成29年度21世紀土地改良区創造運動表彰において、特に優れた運動を展開している水土里ネットへ贈られる「21創造運動大賞 水の守人マイスター」を受賞している。今年度も幅広い世代へ向けて、精力的に水土里ネットの価値を浸透させる活動を行っている。

平成30年10月16日に開催された「第41回全国土地改良大会宮城大会」にて、平成29年度の水土里ネット仙北平野の活動がパネル展示され、活動内容が全国へ紹介されました！



秋田県21世紀土地改良区創造運動表彰

支部名	受賞団体名	受賞区分
仙北	秋田県仙北平野土地改良区	県知事賞
秋田	井川町土地改良区	奨励賞
秋田	飯田川土地改良区	奨励賞



21世紀土地改良区創造運動 活動報告集

今年度も県内各水土里ネットにて21創造運動が行われました。

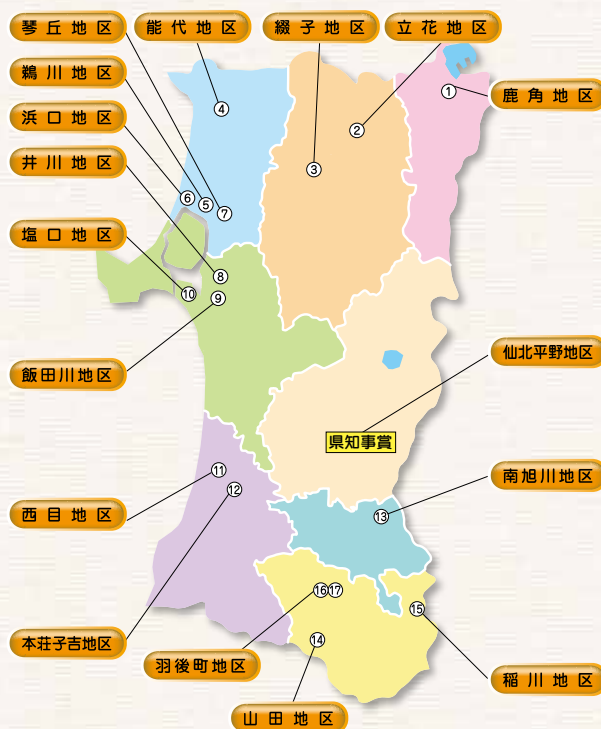
県内水土里ネットでは地域の特色を生かした活動を通し、地域農業の振興、地域コミュニティの強化・再生、地域資源の管理を行い、水土里ネットの価値を浸透させています！

各地域で行われた活動を是非ご覧ください！！



平成30年度 活動状況

No.	改良区・関係団体名	活動・イベント内容	ページ
特集	水土里ネット仙北平野	IoT技術を駆使した用水管理システムを学ぶ	13
	水土里ネット仙北平野	水土里ネット森林学習	14
	水土里ネット仙北平野	水生生物の自然観察会	14
1	水土里ネット秋田鹿角支部	田んぼアート	15
2	大館市土地改良区	児童による農業体験学習	16
3	北秋田市土地改良区	稲穂ロードへの花の植栽活動	16
4	秋田県能代地区土地改良区	水土里の実践活動	17
5	水土里ネットみたね	豊穣の里ウォーキング	17
6	水土里ネット浜口	水生生物の調査及び土地改良施設見学会	18
7	琴丘土地改良区	農業施設見学会	18
8	井川町土地改良区	学習田農業体験活動	19
9	水土里ネット飯田川	学習田農業体験活動	19
10	水土里ネット天王	水路用地のクリーンアップ	20
11	由利本荘市土地改良区	農業体験学習(米づくり体験学習)	20
12	水土里ネット子吉	ふるさと環境教室	21
13	水土里ネット南旭川	花の植栽活動	21
14	水土里ネット山田五ヶ村	維持管理巡回コンテスト	22
15	稲川土地改良区	どろんこ学校	22
16	羽後町土地改良区	水土里と森のふれあい学校	23
17	羽後町土地改良区	食糧・環境ふるさとを考える女性の会	23



IoT技術を駆使した用水管理システムを学ぶ



内容

地域用水の水源をはじめ、用排水を調整する水利施設、除塵機、またそれらを一元管理する用水管理センターについて学習。

参加者：秋田県立大学 生物資源科学部 学生

期間 6月20日

場所 秋田県仙北平野土地改良区 用水管理センター

★アピールポイント・感想

研修に参加した大学生は、今後必ずしも農業に携わるわけではないが、米どころ秋田の水を支える水土里ネットの仕事や活動を啓発することができた。

今回は食料・エネルギー・環境問題を課題とする生物資源科学部の皆さんであったが、田んぼに水を入れるには小さな用水路に板を立てて、というイメージがあつたかも知れませんが、その大元となる水はIoT技術を駆使して遠隔監視・遠隔操作され、1号幹線だけで最大取水量毎秒約24トンもの水がここ用水管理センターで制御されていると知り、驚いた様子だった。

仙北平野は食料(お米)に直結する水管理を行っており、またゲリラ豪雨等に対する災害防止や小水力発電所によるエネルギー問題にも取り組んでいるので、これからの学習には是非役立てていただきたいと感じた。



水土里ネット森林学習会

内容

「森林のはたらき」をテーマに地域の水源である保安林の働きと水の関わりについて学習。

参加者：美郷町内の小学児童4年生、地域住民

期間

6月20日

場所

美郷町住民活動センター、七滝保安林

★アピールポイント・感想

植樹理念を訴え、植樹する意味の理解を深めてもらう機会となっています。

森林の多面的機能及び水の生成について学ぶ機会となっています。児童らは真剣な眼差しで学習を受け、特にブナ林の保水力と水の生成メカニズムに興味を持った様子でした。土地改良施設の役割を理解してもらう事も大事ですが、地域水源を覚えてもらう事も大切だと私は思います。

この学習を学校教育でも役立ててもらいたいと感じました。



水生生物の自然観察会



内容

きれいな清流で子供たちの力を借り、水生生物調査及び水質調査を実施。

参加者:大仙市立藤木小学校5・6年生

期間

7月4日

場所

丸子川支流湯田沢川上流

★アピールポイント・感想

児童らは事前に学校周辺の小川で調査を実施しているが、調査結果の違いやその要因を学習出来る機会となっている。

調査地点上流の砂防ダムには、ブラックバスが息息しており、下流の生態系への影響が懸念されています。そこで、子供たちから協力を頂き、毎年調査を実施しています。子供たちが、捕獲体験を行い、水質階級Ⅰ～Ⅱに該当する生物を多数確認出来た事は大きな成果だと思います。また、PH測定では中性と判定されました。この内容が上級生から下級生へと伝わり、更には家族へと情報発信されれば多くの人に理解浸透になるのではないかと思います。

水土里ネット秋田鹿角支部

末広小学校「田んぼアート」及び水利施設について出前授業



内容

感謝の古代米田んぼアート

期間

5月31日～10月5日

場所

末広小学校、隣接学校田

★アピールポイント・感想

今年度いっぱい143年の歴史に幕を閉じ閉校となる、末広小学校の「田んぼアート」制作をお手伝いしました。今年度は、全校児童が一つずつ考え、これまでお世話になった学舎、そして地域の方々への感謝を伝えるテーマとして「ありがとう末広小学校」児童のアイデアと想いが詰まっているデザインとなりました。子ども達が考えたアートを元に、前日から杭打ちの準備をし、当日は、地元農家から育てて貰った色とりどりの古代米を使い、地域の方々の力を借りて1年生から6年生まで全校で、絵や字を描き田んぼアートを完成させました。植えた後は、地域の人々の協力を仰ぎながらメダカの放流や無農薬栽培に挑戦し全校生徒が地道に管理してきた田んぼアートを、7月に『ドローン』で撮影して頂きました。

全校児童22人と少ない学校ですが、一つのことを協力して作業ができる子供達で感心しました。今後も、これから地域を担う子供達に向け農業農村の役割について理解を深めてもらえるような活動を継続していきたいです。

大館市土地改良区

石田 誠孝

児童による農業体験学習



内容 川口小学生(3年)によるネギ植え・収穫体験

期間 6月21日・10月26日

場所 大館市立花字立花 地内

★アピールポイント・感想

体験学習を通じてネギへの関心が深まり、農業の楽しさや人々との関わりを感じることができました。

農事組合法人立花ファーム、立花農地保全保全隊の協力のもと、今年で15年目となり毎年恒例となっている農業体験学習が、川口小学校3年の児童、先生及び関係者33名の参加のもと、春のネギ植え、秋には立花ファームで栽培管理されたネギの収穫作業を体験しました。春のネギ植えでは作業終了後役員らにネギの種類や育て方、病気への対処など活発な質問が出されるなど農業への関心が伺えました。また、収穫体験では収穫の喜びに汗を流しながら、家へのお土産として一生懸命ネギの袋詰めをしていたのが印象的でした。指導に当たった関係者からは来年も新3年生によるネギ植え体験を心待ちしている旨の声が聞かれました。

北秋田市土地改良区

北秋田市綴子地区農地・水・環境保全組織

三沢 諭司

稲穂ロードへの花の植栽活動

内容 農道への花の植栽

期間 6月10日

場所 綴子地区の農道、愛称稲穂ロード(総延長約3.3km)

★アピールポイント・感想

農家、非農家関わらず多くの方が参加する組織最大のイベント。

綴子地区の中央部を縦断する農道、愛称稲穂ロード(3.3km)にサルビアとマリーゴールドを植栽しました。当日は子供から大人まで約350名が参加し、植栽活動を楽しみました。北秋田市長も応援に駆けつけてくれました。

植栽終了後は専門の管理班を結成し、草刈り、水やり、追肥などを行い、花が枯れる季節まできれいな状態を維持し、近隣住民の癒しとなっています。



水土里の実践活動



内容

農業水利施設周辺への花の植栽活動/農業水利施設の視察研修/幹線排水路の環境整備活動/小学校児童への農業水利施設や多面的機能についての出前授業

期間 7月4日/7月19日/10月16日/12月7日

場所 大野分水工/落合幹線排水路/浅内小学校 等

★アピールポイント・感想

幼稚園児から大人まで、幅広い世代に参加してもらうことが出来ました。

今年度は、地元幼稚園・地元自治会の皆さんとの分水工周辺への花の植栽活動、秋田県立大学の皆さんに農業水利施設の紹介をする視察研修、幹線排水路を実際に使用している地元住民の皆さんとの環境整備活動、地元小学校への出前授業の4つの活動を実施しました。早い時期の植栽、小学校への出前授業などを昨年度に引き続き行うことができ、地域の方々に農業用水利施設の多面的機能や土地改良区についてより広く伝えられたのではないかと思います。



水土里ネットみたね

豊穰の里ウォーキング兼施設見学会

内容 ウォーキングと施設見学

期間 10月20日

場所 第九排水機場周辺

★アピールポイント・感想

排水機場の見学を目的に、田んぼ・水路・農道をウォーキングしました。

当日は71名の参加者が集まりました。早朝より快晴。風が少なく、準備作業もスムーズでした。少しずつ気温が上がる中、毎年参加して下さる方も多く、和やかな雰囲気で開催がスタートしました。年齢や、体調に合わせて選べるよう、中距離と短距離の2コースを用意し、無理のないペースで田んぼ・水路・農道を観察しながら機場までウォーキングして頂きました。参加者が熱心に機場の説明を聞いて下さるのが印象的でした。例年のこの活動でより多くの方に排水機場の役割をご理解いただいております、今後も継続していくことに重要性を感じました。



水生生物調査及び土地改良施設見学会



内容

浜口小学校4年生児童16名の環境教育とタイアップして土地改良施設(揚水機場)見学会を実施しました。また用排水路内の水生生物調査も実施しました。

期間 6月13日

場所 三種町浜田地内の用水路、揚水機場

★アピールポイント・感想

浜口地域内の水田水路に生息する「生き物(水生生物)と環境」をテーマに、生き物の採取と観察を行い、環境と生き物について関心を高めてもらいます。

土地改良施設については実際にポンプを運転し水の流れや仕組み、管理する人々について学習してもらいました。生き物の採取については積極的で、土水路のため生き物の多さに驚いていました。また、ポンプの稼働により用水路への水の放流を見学し、作物を作る上で水の大切さと水管理を維持している人々の努力を感じとった貴重な施設見学会になりました。

農業施設見学会

内容

琴丘小学校5年生に課外授業の一環として、ため池・揚水機場・排水機場を見学してもらい、農業用水と土地改良区の役割について理解を深めてもらいました。

期間

6月18日

場所

山本郡三種町鹿渡地内

★アピールポイント・感想

施設見学会を実施することにより、地域における農業用排水施設や土地改良区についての理解を図っていきたいです。

施設見学会に参加した子供たちは、初めて見る施設に大変興味を示してくれました。家庭に戻ってこのことを報告したと思います。

将来大人になったときに少しでも覚えていてくれることを願い、今後もこの活動を継続したいと思います。



学習田農業体験活動



内容

井川義務教育学校5年生による「田植え・稲刈り」体験

期間 5月21日(田植え)10月3日(稲刈り)

場所 井川義務教育学校学習田

★アピールポイント・感想

農作業の大変さを体験するとともに、自然とふれあう楽しさ、収穫による喜びをかみしめる活動になりました。

小・中学校を一貫教育する義務教育学校として、最初の「田植え・稲刈り」が行われました。

春の田植えでは、お手伝いする農業委員から飛んでくる苗をキャッチしたり、ぬかるみに足を取られ尻餅をつくなど泥んこになりながら田植えをしていました。秋の稲刈りでは、自ら植え黄金色に育った稲穂を手作業で刈取りし、昔ながらの「はさがけ」を体験しました。

今後も田園風景に児童たちの泥んこの姿や歓声をあげている姿が見られるよう活動を継続できればと思います。

水土里ネット飯田川

学習田農業体験活動

内容

飯田川小学校による農作業体験、収穫感謝祭

期間

5月11日(田植え)、10月3日(稲刈り)、11月22日(収穫感謝祭)

場所

飯田川小学校学習田、体育館・食堂

★アピールポイント・感想

子供たちと地域のふれあい、収穫の喜びと農業の大切さを伝える場となっています。

飯田川小学校5年生による農作業体験に、老人クラブ・J Aあきた湖東と一緒に参加しました。稲刈り時には、子供たちが一人ずつバケツで栽培した稲を、昔の農機具等を使いながら精米まで行い、おにぎりにして食べました。

収穫感謝祭では、各学年での農作業体験等を発表し、感謝状をいただきました。昼食には、婦人会と子供たちで作った「だまご鍋」を全校生徒と一緒にご馳走になりました。子供たちが、農作業の難しさや収穫の喜びを感じることで、農業の大切さが伝わったと思います。



水土里ネット天王

櫻庭 秀見

～生活に密着した綺麗な水路～



内容

集落に隣接する水路の小さい頃から親しんだ「赤水」水路にて年一回の集落総出のクリーンアップを行う。

期間 6月3日

場所 潟上市天王字塩口に隣接する承水路

★アピールポイント・感想

昔から「せせらぎ水路」とはほど遠い「赤水っこ」と言われてきた水路で、高い鉄分土壌のため染み出した成分が酸性化して水が赤く濁っている。昔は生活水としても使われていたが白い衣服を洗濯すれば赤く染るけれども気にしない時代だった。そのため浄化水道がいち早く設備されたので、近年は必要性が薄れゴミの放置、ポイ捨てが増えてきていたが集落が一丸となってコミュニケーションと取りつつクリーンアップを行う事で昔のエピソードを思いだしながら美化を推進する。平成17年度より13年間活動してきたので定着してきた。

由利本荘市土地改良区 西目環境保全活動の会

三浦 昭夫

農業体験学習(米づくり体験学習)

内容

小学校5年生が主体となって播種、田植え、稲の生育観察、稲刈り、自然乾燥の各工程の実体験を通して学習活動をし、毎年行われる種苗交換会に活動成果を出展し賞を得ている。関連した学習として魚類の調査、親水公園の清掃も行っている。

期間

4月18日～9月28日

場所

西目地域一円

★アピールポイント・感想

体験学習により主食である米の大切さ、農業用水の節水の仕方、河川の汚濁防止等環境保全の大切さを学習の柱としている。

生涯で一度の体験となる子供も多数いると思われるので、地域住民の力を借りながら学習してもらっており大変実のある活動と思う。

また、収穫した米は消費拡大と学校給食に使用し喜ばれている。



水土里ネット子吉

天野 貫太郎

ふるさと環境教室



内容 子吉の水源・ふるさとの自然環境を学習

期間 5月31日

場所 水道用ため池・農業用ため池・発電所・農業用水利施設等

★アピールポイント・感想

ため池が地域の農業、生活を支える重要な施設であることを子供達に知ってもらいます。

子吉小学校5年生を対象に授業の一環として平成22年度から活動しており、毎年同じルートで施設を回っています。積極的に質問や意見を述べ、興味津々と農業用施設を見学する児童達を見て、少しでも農業や土地改良区に興味を持ってもらえたらと思います。



水土里ネット南旭川

泉 勇輔

花の植栽活動

内容 横手市立北小学校にてペコニア(赤、ピンク)800本を、全校児童と共にプランターへの植栽活動を実施しました。

期間 6月6日

場所 横手市立北小学校

★アピールポイント・感想

21世紀創造運動のプランター用シールを作成し貼り付け、専用プランター等への植栽を行いました。

今年度より北小学校へ活動場所を変え、全校児童、環境緑化部(PTA)と横手地域資源保全隊が力を合わせ晴天の下活動を行うことができました。植栽活動を通じて、毎日の水やりから花の成長を見ることによって、水の大切さを学んで頂けたと思います。

また普段なかなか関わる事ができない地域の方々との交流場としても大きく貢献してる活動のため、来年度も色々なアイデアを出し活動を続けていきたいと思っています。



水土里ネット山田五ヶ村

倉田 一治

地域住民一体となった維持管理コンテスト



内容 維持管理実施状況の巡回コンテストを実施しました

期間 9月10日

場所 水土里ネット山田五ヶ村管内 ~ ニュー千寿苑

★アピールポイント・感想

水土里ネット山田五ヶ村管内の多面的機能支払交付金活動組織（広域協定の20の活動組織）が実施している農地維持活動、資源向上活動の取り組みについて、毎年度実施している維持管理コンテストと共催で実施しています。

各活動組織の代表が各地区の実施状況を巡回し、項目別に採点しながら実施内容の説明を行いました。各活動組織において、それぞれ工夫した取り組みが見られ、活動組織間の連帯意識の高揚や情報交換の場としてなくてはならないものとなっております。

また、農業用水利施設の重要性や維持管理活動のPRにも努めながら、多面的機能支払交付金制度を通じて大きな効果が生まれつつある、地域住民との交流活動（農家・非農家を巻き込んだ集落環境、生活水の確保等）、更新期を迎える土地改良施設の更なる長寿化対策等の啓蒙にも努めております。

この維持管理コンテストは本年度で32回を数え、水土里ネット山田五ヶ村の21世紀土地改良区創造運動の中核を担う活動となっており、今後とも創意工夫に努めながら、水土里ネットの大切な役割を地域住民に伝える取り組みを行っていきたくと思っています。



水土里ネット稲川

阿部 進

どろんこ学校

内容

出前授業や施設見学会、農業体験を通じ、子供たちに農業の魅力を伝え、また子供たちを介して地域住民が活動に参画することにより、農業農村・農業水利施設が地域の宝として、地域資源から地域資産へと認識が変わり、保全・管理活動につながっていく。

期間

5月18日～平成31年2月8日

場所

稲川土地改良区管内

★アピールポイント・感想

新聞やテレビなどで取り上げられたり、ホームページで発信したことにより、写真愛好家がイベントに訪れるなど、情報発信が出来たと思う。また、ため池での魚のつかみ取りは参加した子供にとって一生忘れない体験になったのではないかなと思う。

この活動は毎年同じような内容で行っているが、受ける子供たちは毎年新たになる訳で、継続することが大切であり、その輪が広がってきていると思う。

この活動には地域の資源保全会の皆さんや保護者の方々などたくさんの方々の協力で、この活動は成り立っている。これからも土地改良区が地域のコーディネーターとしての役割を担っていければと思っている。



水土里と森のふれあい学校



内容 小学5年生を対象とした自然観察会

期間 6月28日

場所 アルカディア公園(足田ため池)

★アピールポイント・感想

参加者を4つの班に分け、班毎に自然観察指導員が付いて観察会を行っています。改良区の職員も写真を撮りながら巡回し、参加者の安全に配慮しています。

町の公園「アルカディア公園」とその中にある農業用ため池「足田ため池」で自然観察会を行うことで、自然に親しむ機会を設けると共に、土地改良事業の一端に触れ、またため池に近づく時は安全に気をつける様に呼びかけるなど、一日の観察会の中で多くの目的を持って活動しています。

食糧・環境ふるさとを考える女性の会



内容

組合員家庭の女性を対象とした施設見学及び土地改良事業・活動内容等説明会、振興局職員による講演など

期間

10月19日

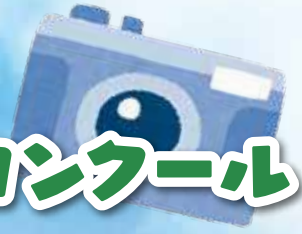
場所

羽後町土地改良区管理施設

★アピールポイント・感想

土地改良区の事業・施設等に触れる機会の少ない組合員家庭の女性に実際に施設を見たり、事業や活動について説明することで、土地改良区への理解を深めてもらう為に行っています。

参加した方からは、「参加して良かった」との声を多く聞きます。また、「賦課金の使い道が初めて分かった」「改良区自体よく分からなかったが理解出来た」などの声があり、改良区自体が理解されていない事がよく分かりました。改良区そのものの理解を得る事が事業を進めて行く上で必要な事だと感じました。



美しく豊かな農村づくり写真コンクール



ベストあきた賞

「素晴らしき山麓」 佐藤 成公
[撮影場所] 秋田県由利本荘市矢島

日本 NN 賞

「田植え」 田中 容子
[撮影場所] 徳島県佐那河内山の上



秋田県農林水産部長賞

「新緑の山里」 九嶋 操
[撮影場所] 秋田県鹿角市八幡平小割沢



ナイスアグリカルチャー賞



「わたしもおてつだい」 高橋 信雄
〔撮影場所〕 秋田県横手市増田



「金農小町」 小形 勝也
〔撮影場所〕 秋田県潟上市追分



「頭首工が描く流れ」 金田 勇希
〔撮影場所〕 秋田県藤里町素波里



「水ぬるむ頃」 丹羽 明仁
〔撮影場所〕 秋田県にかほ市冬師



「山里に生きる」 鹿島 和生
〔撮影場所〕 鳥取県日野郡江府御机



「岩手山と共に」 片岡 雅子
〔撮影場所〕 岩手県八幡平市

棚田オーナー賞



「ジュンサイ採り」 松元 澄夫
〔撮影場所〕 秋田県三種町



「初夏の風」 石川 京子
〔撮影場所〕 高知県長岡郡本山町



「初めての稲刈り体験」 角田 静花
〔撮影場所〕 秋田県大館市粕田



「祖母のやさしく強い手」 藤田 高史
〔撮影場所〕 秋田県鹿角市八幡平



「ステキな田んぼアート♡」 海老澤 文男
〔撮影場所〕 秋田県北秋田市



「秋晴れの忙しさ」 石川 勘左衛門
〔撮影場所〕 秋田県東成瀬村岩井川



「初めての体験」 九嶋 祐
〔撮影場所〕 秋田県北秋田市綴子



「日差しを待つ」 小池 輝
〔撮影場所〕 岐阜県恵那市

棚田オーナー賞



「ひと休み」 木村 秀吾
〔撮影場所〕 秋田県大瀧村



「稲架（ハサ）の前で一服」 佐藤 あい子
〔撮影場所〕 秋田県羽後町田代



「舞台稽古（子供歌舞伎）」 古川 重幸
〔撮影場所〕 秋田県三種町



「「こまち」です。」 吉田 慶嗣
〔撮影場所〕 秋田県にかほ市象瀧町横岡



「子に伝えたい事」 渡邊 次夫
〔撮影場所〕 秋田県秋田市河辺



「秋色」 須藤 寿
〔撮影場所〕 秋田県秋田市



「お父一昼だよー」 田口 秀三
〔撮影場所〕 秋田県由利本荘市亀田

ふるさととの田んぼと水 子ども絵画展2018



全国水土里ネット主催の「ふるさと田んぼと水」子ども絵画展2018にて秋田県からは2つの作品が入賞しました！このコンクールは子どもの絵画を通じて、一般の方々にも水土里ネットの役割を伝えて行くために平成12年度から毎年開催されております。毎年地域水土里ネットの協力の下、多くの作品を応募頂いております。



入 選

水土里ネット秋田会長賞



「花っこ植え」

秋田県羽後町立三輪小学校
4年生 古関 真穂 さん



「玉ねぎがいっぱいになったよ」

秋田県羽後町立三輪小学校
1年生 古関 陽花子 さん



【発行所】 秋田県土地改良事業団連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号
TEL.018-888-2750(代) FAX.018-888-2834
<http://www.akita-midori.net/>

